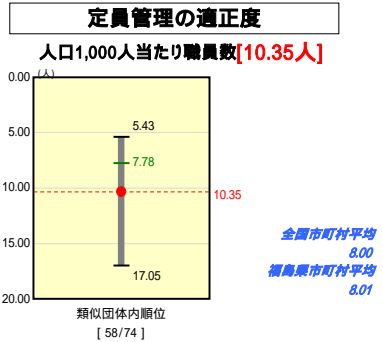
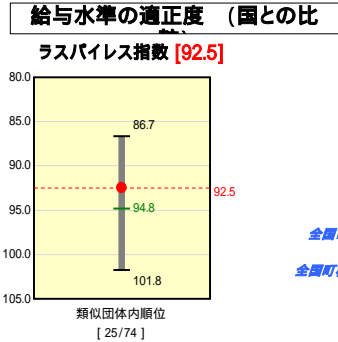
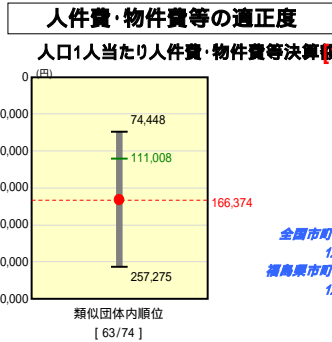
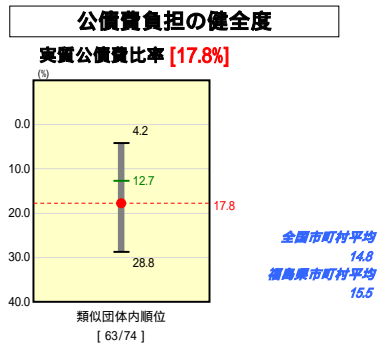
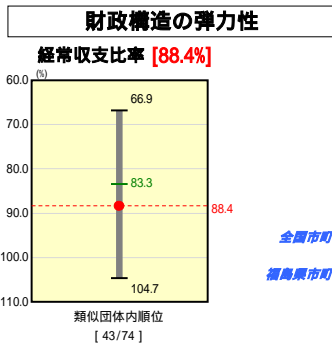
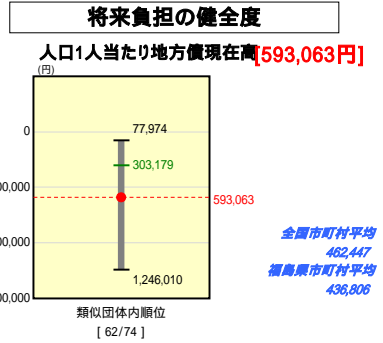
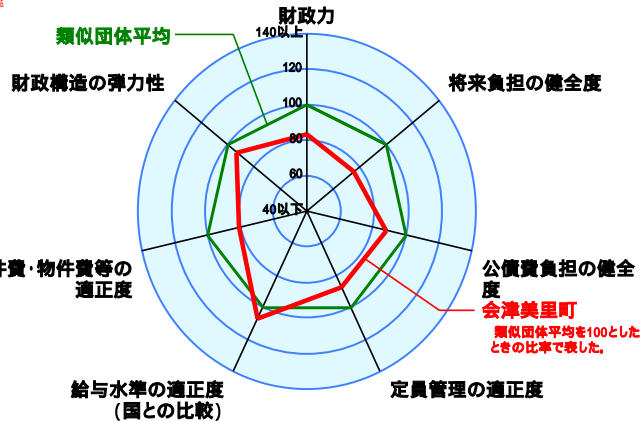
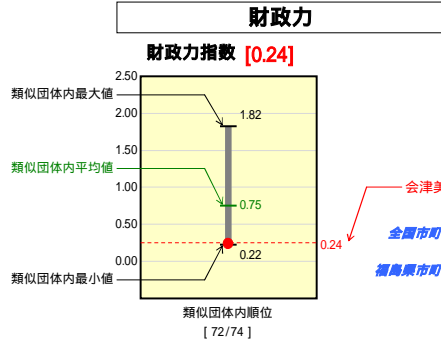


市町村財政比較分析表(平成17年度普通会計決算)

福島県 会津美里町

人口	25,324	人(H18.3.31現在)
面積	276.37	km ²
歳入総額	13,972,679	千円
歳出総額	13,866,760	千円
	101,024	千円



人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析概

財政力指数 町村合併前のいずれの町村も類似団体平均を下回っており、財政基盤の脆弱な町村おしの合併により誕生した会津美里町は特に法人関係の歳入が低迷し、0.24と類似団体平均では下位に位置している。新鶴インターチェンジが恒久設置となったのを機に企業・定住促進係を新設し、高田・新鶴工業団地の早期売却に努め、法人関係の歳入のアップを図る。

経常収支比率 経常収支比率が類似団体平均を大きく上回っているのは、年度途中で合併が行われたことから半年分は旧町村の決算額の合計であること、また、合併により職員が増加し人件費が増加したことが要因である。今後は町村合併の効果を発揮し、新規採用の抑制(5年間は新規採用を実施しない)による職員数の削減や行革大綱に沿った取り組みを通じて経費削減に努め、財政基盤の強化に努める。

実質公債費比率 国営会津宮川土地改良事業、過疎対策事業、合併特例事業の償還に伴い上昇し、類似団体平均を大きく上回っている。今後控えている事業計画の整理・縮小を図り、新規発行額を標準財政規模の10%以内に抑制することにより、起債残高を確実に減らしていく。

人口1人あたりの地方債現在高 国営会津宮川土地改良事業、過疎対策事業、合併特例事業の実施により、類似団体平均を大きく上回っている。今後は町村合併の効果を発揮し、人件費をはじめ義務的な経費の削減を中心とする行財政改革を強力に進めるとともに、新規発行額を標準財政規模の10%以内に抑制することにより、起債残高を確実に減らしていく。

ラスパイレズ指数 町村合併以前より給与の適正化に努めており、類似団体平均を下回っている。引き続き、管理職手当や時間外手当等の抑制、給与の適正化に努めていく。

人口1,000人あたりの職員数 町村合併の年であり職員数が増加し類似団体平均を大きく上回っている。平成16年度以降5年間は新規採用を実施しないことにより職員数を削減し、平成23年度には類似団体平均の水増しとする。

人口1人あたり人件費・物件費等決算額 人件費、物件費及び維持補修費の合計額の人口1人あたりの金額が類似団体平均を大きく上回っているのは、年度途中で合併が行われたことから半年分は旧町村の決算額の合計であること、また、合併により職員が増加し人件費が増加したことが要因である。今後は町村合併の効果を発揮し、新規採用の抑制(5年間は新規採用を実施しない)による職員数の削減や行革大綱に沿った取り組みを通じて経費削減に努め、財政基盤の強化に努める。